

## 小川サロンと湯ら里で寄席 三遊亭鳳楽師匠の 独演会を開催！

落語家・三遊亭鳳楽師匠の独演会が今年も小川集会所と季の郷湯ら里で行われ、多くの町民に笑い与健康が届けられました。9月29日に行われた小川サロンの寄席では、はっぴを着た集落の方々など約60名の前で「子ほめ」を披露しました。会場は大きな笑いにつつまれ、寄席終了後には集落の方々から感謝の言葉とプレゼントが鳳楽師匠に贈られました。また、翌日30日の「第12回湯ら里寄席」では、笑い話から人情話まで多くの古典落語の世界が披露され、来場者を魅了しました。今年で開催12年目を迎えた鳳楽師匠は「只見町の皆さんにはいつも心の底から笑っていただき、逆に元気をもらっています」と話されました。



▲小川サロンで披露する三遊亭鳳楽師匠



▲参加者の前で解説する河井継之助記念館運営委員の目黒良樹さん

## 2年連続で只見町がクイズ番組の予選会場に！ 第2回「峠」王クイズ選手権大会

9月30日、UX新潟テレビ21が制作する番組「第2回『峠』王クイズ選手権大会」の予選会が行われ、昨年に続き只見町が番組の舞台の一部となりました。

この番組は、河井継之助を主人公に司馬遼太郎が書いた歴史小説「峠」をテーマに、戊辰戦争ゆかりの地を巡りながらクイズを行い「峠」王を目指す大会で、予選会場の只見町では叶津番所や河井継之助記念館でクイズが行われました。河井継之助記念館運営委員で郷土史家の目黒良樹さんが、クイズの出題や解説などを行いました。今回の収録の様子は後日、UX新潟テレビ21で放送される予定です。

## お笑い芸人と只見線に乗って奥会津の魅力を知る よしもと芸人只見線ツアー

県と吉本興業が連携して只見線と奥会津の魅力を全国に発信する「よしもと芸人と行く！只見線体験ツアー」が行われ、只見町もツアーの舞台になりました。只見町を訪れるツアーとしては10月17～26日までに1泊2日で3コースが企画され、首都圏や仙台などから参加した約200名のツアー客が「M-1グランプリ2016」王者の銀シャリや只見の雪まつりのゲストとして登場したライスなどの人気芸人と一緒に奥会津の旅を楽しみました。只見町では田子倉ダムや青少年旅行村、季の郷湯ら里などを訪れ、大自然を背景に漫才を披露し、ツアー客は旅を満喫しました。



▲旅行村でよしもと芸人とツアー客を迎える菅家町長

## 夫婦で築いた半世紀をたたえる しあわせ金婚夫婦表彰

10月17日、福島民報社と県老人クラブ連合会が主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が季の郷湯ら里で行われ、町内の12組が金婚表彰を受けました。

表彰式では小沼武夫町老人クラブ連合会長から各地区代表3組に表彰状などが伝達され、受賞者代表謝辞では角田宣夫さん・高子さん夫妻が「これからも町の発展に尽くしたい」と述べられました。



▲小沼会長から表彰を受ける平山忠夫さん・久美子さん夫妻

## 今年も安心・安全のお米を届けるために 「米の放射性物質検査」始まる

県内全域で取り組む「米の放射性物質検査」が只見町の検査場で、9月25日から始まりました。これは、県内で収穫された玄米に対して放射性物質検査を行う「全量全袋検査」です。これまで平成24年から毎年行われていますが、基準を超えたお米はなく安全性が確認されています。検査場では、今年収穫されたお米の検査が進められており、11月中旬まで行われる予定です。



▲検査機器に30kgの米袋を乗せて計測する検査員

## 只見町教育委員会教育委員の辞令交付式 長浜地区の吉津美都里さんが就任

10月2日、只見町教育委員会教育委員の辞令交付式が役場で行われ、長浜地区の吉津美都里さんが就任されました。教育委員は町の教育振興の発展のため、教育政策の提案や町民の教育への意見、ニーズを教育行政へ反映させる役割を担っています。辞令交付式では、菅家町長から吉津さんへ辞令書が手渡されました。吉津さんの任期は10月1日から4年間となります。



▲辞令書を手にする吉津さん(中)と菅家町長(右)、橋本副町長(左)

## (株)福島情報処理センター 災害・非常用電池を寄贈

9月29日、(株)福島情報処理センター(郡山市)の小暮憲一代表取締役社長が来庁され、今年7月に只見町が受けた豪雨災害の見舞品として、災害・非常用電池「エーターナス」2セットを寄贈されました。同電池は空気に触れると発電を行うことが特徴で、スマートフォンなどの場合は約54回充電が可能です。同電池は災害・防災備蓄品として町で備蓄し、緊急時に活用いたします。



▲菅家町長(右)へ災害・非常用電池を寄贈する小暮社長(左)



児童・生徒が日頃の学習の成果を発表！

## 各小中学校で「学習発表会・紅葉祭」を開催

10月、各小学校の「学習発表会」と只見中学校の「紅葉祭」が行われ、日頃の学習の成果が発表されました。各小学校の発表会では劇や合唱などが披露され、只見中の紅葉祭では英語弁論発表や総合学習発表、合唱や有志発表などが披露されました。各小中学校の取り組みを写真で紹介いたします。



【只見小】さわらび学級で和太鼓を体験する6年生



【朝日小】6年生の劇「歴史教室」



【明和小】6年生の劇「未来へ～自然とともに～」



【只見中】全校合唱を披露する生徒

障がい者への福祉の充実を図る

## 町内初のグループホーム完成！

10月17日、町内初の障がい者向けグループホーム「こまどり荘」が長浜地区に完成し、内覧会が行われました。当施設は定員7名で、主に知的・精神障がいの方が入居し共同生活を送る予定です。これまで町内には障がい者向けの施設が整備されておらず、自宅生活が困難となった方は町外の施設を利用する状況でしたが、今後は町内での生活が可能となり充実した福祉サービスを受けることができます。当施設を利用したい場合は、保健福祉課福祉係(Tel.84-7010)へお問合せください。



▲完成したこまどり荘を見学する関係者の皆さん

身近な野草の効能・調理法を学ぶ

## 第2回ノラサン野草教室

10月9日、身近な野草で健康づくりを目指す団体ノラサンの「第2回野草教室」が只見振興センターで行われ、町内外から15名が参加しました。講師は前回に引き続き貝津好孝先生が務め、野草の効能や使い方のほか、野草の採取から調理法の講座が行われ、参加者は身近な野草の効能・調理法などを学ぶことができました。



▲館ノ川で採取した野草を使って様々なメニューを料理した野草教室

## 只見ホームの方々と子どもたちが交流 カルガモクラブのえんそく

10月3日、カルガモクラブの「ハロウィンえんそく」が只見ホームで行われ、15組の親子が参加しました。

えんそくでは、只見ホームのおじいちゃんおばあちゃんから子どもたちにおやつが手渡され、一緒に踊りや遊具遊びなどを行い交流を深めました。また、会場ではハロウィンの衣装に着替えた子どもたちのかわいい姿に、多くのカメラが向けられていました。



▲民生委員の方々が見守る中、子どもたちと触れ合う只見ホームの皆さん

## 第9期生が松下政経塾で宿泊研修 地域人材育成ダイヤモンドプラン事業

10月19～20日、教育委員会が主催する人材育成第9期生の講座「松下政経塾宿泊研修」が神奈川県茅ヶ崎の同塾で行われ、9期生など8名が参加しました。現在9期生は「アウトドアプランナー」を目標に受講しており、今回の研修では「只見で為すべきこと」をテーマに、松下政経塾の塾生から取組事例などの発表と、ワークショップなどが行われ、地域リーダーとしての志を磨きました。



▲松下政経塾研修に参加した受講生の皆さん

## ふるさと交流都市「柏市」を盛り上げる！ 永楽台地域文化祭で只見町をPR

10月21～22日、ふるさと交流都市である千葉県柏市の永楽台近隣センター文化祭に、只見町と(株)会津ただみ振興公社が参加しました。

文化祭では、只見町の特産品などを集めた物産販売や毎年恒例の餅つきふるまいを行い、会場を盛り上げました。また、紅葉シーズンを迎える只見町のPRなども行い、柏市との絆を深めました。



▲来場者に好評だった只見町の物産販売

## JR路線で初の試み！ 「只見線で車内プロレス」開催！

10月22日、JR只見線の貸切臨時列車「只見線で車内プロレス！」が開催され、只見駅前広場でもプロレスの試合が行われました。これは新潟県魚沼市観光協会が主催で、困難な状況から立ち上がるプロレスと只見線の思いを重ねて企画されたもので、プロレス列車はJR路線で初開催となりました。参加者は、行きの只見線車内や只見駅前で行われたプロレスを堪能し、帰りの只見線では車窓からの紅葉を楽しんでいました。



▲只見駅前広場で行われた「只見線プロレス」